

建設水道常任委員会記録

令和4年6月13日(月)午前11時49分～午後0時02分(9階908会議室)

○出席委員(8名)

委員長	萩原 太郎
副委員長	斎藤 正臣
委員	佐々木 優
委員	二階堂 利枝
委員	後藤 善次
委員	梅津 政則
委員	大平 洋人
委員	二階堂 武文

○欠席委員(なし)

○案 件

所管事務調査「除雪に関する調査」

- 1 参考人招致の実施について
- 2 今後の調査の進め方について
- 3 その他

午前11時49分 開 議

(萩原太郎委員長) 建設水道常任委員会を再開いたします。

初めに、除雪に関する調査の所管事務調査に関し、参考人招致の実施についてを議題といたします。前回開催いたしました委員会において、次の調査方法については参考人を招致し、意見を聴取することで調査項目に対する見識を広げることとしておりました。

なお、参考人招致の日程、意見を聴取する内容については正副委員長手元で事前に調整を進めることをご一任をいただき、本日の委員会で参考人招致の実施についてを議決させていただく予定をしておりましたが、相手側との調整に時間を要し、実施要領案をお示しするのが現時点で難しいため、現在の状況を報告させていただければと思います。

それでは、資料の参考人招致実施内容案についてをお開きください。まず、1、日時については7月11日月曜日、14日木曜日、15日金曜日のいずれかの日で調整しておりますが、相手側の都合により変更となる場合がありますので、詳細が決まりましたらメールなどで別途お知らせしたいと思います。

場所は908号室、この会議室の予定ですが、変更の可能性がありますので、こちらについても日程と併せて詳細をお知らせいたします。

目的については記載のとおりでございますので、よろしく申し上げます。

依頼先及び参考人より聴取する意見の内容についてですが、参考人候補としておりました河川国道事務所との調整が困難となったため、県北建設事務所より参考人を招致し、意見開陳の際ご意見のあった豪雪地帯の概要や除雪費補助制度などについて聴取することを考えております。聴取する意見の内容については、豪雪地帯の概要と福島県豪雪地帯対策基本計画による取組についてをテーマとして、記載のとおり講演を依頼しているところですが、先方での内容精査により変更となる場合がありますので、相手側より回答があり次第皆さんにお知らせしたいと思っております。

現在の状況説明は以上となりますが、このような内容で参考人招致を進めさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(梅津政則委員) これ1時間って短くないですか。

(萩原太郎委員長) 相手のほうはどうなのですか。

(書記) 時間についても、今先方で協議していただいているところです。

(萩原太郎委員長) 県北建設事務所のほうでお話をさせていただく内容について、足りないということであればまだ、1時間半なり、状況を見てという部分も出てくるかというふうに思います。今ちょっと交渉中ということなので。

(書記) お引受けいただけるというお返事はいただいているのですが、どこまで説明ができるかというところをまだ中で協議されているということでしたので。

(梅津政則委員) 説明10分、15分あったとしたって、質疑でいっただらば1時間でちょっと足りるのというイメージがあったので。普通1時間半とか2時間で組みますよね。

(書記) 内容によっては、意見開陳30分、質疑応答30分で、全体1時間という場合も今までもあったようですので、内容によるかと思っております。

(萩原太郎委員長) そのような意見もございまして、相手側と交渉するときに、時間のほうは1時間ということに限らず、1時間半なり、それ以上になる場合もありますというふうなことでの決め方といたしますか、交渉をお願いできますか。

(書記) はい。

(梅津政則委員) これ参考人のプロフィールって、大学の先生が来るのですか。

(書記) それは、またこれからちょっとお話しさせていただければと思います。

(後藤善次委員) これから説明ではないですか。

(萩原太郎委員長) まだ。これから説明させていただきます。

(梅津政則委員) いや、だから何か県北事務所と学校の先生にとって、プログラムそこに詰め込むのだったら1時間とかというのもありなのかも分からない。その全体像が分からなかったから、ちょっと

聞いただけでした。これ、では参考人プロフィールは関係ないのね。

(書記) それはまたこれから。

(萩原太郎委員長) これから説明します。

(後藤善次委員) こっちとしては県北建設事務所に依頼をしているということなのでしょう。

(萩原太郎委員長) はい、そうです。

まずはいいですか。県北建設事務所に依頼しておりますので、そこでどなたが来ていただくとかというふうな部分も、議決する意味においては、誰が来るか分からないで、皆さんに了解してくださいとも言えないので、今の状況を説明させていただきました。あとは向こうのほうで、所長が来るのか、課長が来るのかどうかと、そういうのが決まりましたら皆さんにまた報告させていただきたいというふうに思っております。

(梅津政則委員) 日時さえ決まっていれば、もうその当日、始まって5分で採ればいいだけですから。

(萩原太郎委員長) はい。そういうことです。

(梅津政則委員) お願いします。

(萩原太郎委員長) よろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) それでは、こちらの内容で引き続き調整を進めたいと思います。

なお、参考人招致実施要領案につきましては、参考人招致実施日の当日、始まる前に議決をいただく予定にしておりますので、よろしく願いいたします。

次に、今後の調査の進め方についてを議題といたします。

今ほど参考人招致実施内容についてご確認いただいたところですが、正副委員長としましては、現地調査及び当局説明後の意見開陳で出された自助、共助、公助、市民が協力できる除雪体制づくり、降雪状況にばらつきがある本市での大雪のときの対応などのご意見について、さらなる参考人招致を実施し、調査を進める必要があると考えております。

そこで、正副委員長手元で参考人の候補者について、ここの参考人プロフィールにまとめましたので、資料をお開きいただければと思います。参考人プロフィールです。この方なのですけれども、この参考人は地域社会デザイン研究所の沼野夏生先生という方でありまして、地域社会デザイン研究所ということで、4番の設立趣旨のとおり、中山間地域、多雪地域等条件の不利地域の地域社会の再生及び活性化に資するため設立されたシンクタンクであるとのことであります。経歴や略歴は記載のとおりですが、主な実績については、冰雪災害や過疎地域、多雪地域、都市計画など、多岐にわたる分野でご活躍されております。

こちらの方を参考人として招致し、先ほど申し上げました自助、共助、公助を可能とする除雪環境整備について、市民が協力できる除雪体制づくり、降雪状況にばらつきがある地域での除雪取組成功事例の紹介などを中心に聴取したいと考えますが、この件についてご意見があればお願いいたします。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) ありがとうございます。

それでは、沼野先生についての参考人招致実施内容については、本日皆さんから承認いただいたことで、正副委員長でご一任いただくということでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

それでは、今回の参考人招致を想定したスケジュール案を作成しましたので、また資料のほうのスケジュール案、タブレットに入っておりますので、ご覧ください。

では、ご覧いただけましたでしょうか。第6回の7月開催の次回委員会において参考人招致実施要領案をお諮りし、議決をいただければと考えております。参考人招致の実施日については、8月中旬まで頃を想定しておりますので、閉会后、日程調整をさせていただきたいと思っております。参考人招致後、同日、同じ日に参考人招致に対する意見開陳も行いたいと思っております。

以上のようなスケジュールで調査を進めてまいりたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) ありがとうございます。そのようにいたします。

次に、その他を議題といたします。

委員の皆さんから何かございますか。

(後藤善次委員) 参考人招致の2人目の方というのは、角度的にはどういう角度になってくるのですか。例えば業者さんとか。

(萩原太郎委員長) 2人目というと、大学教授のもの。

(後藤善次委員) 次の角度。今回は建設事務所。今度どういう角度になってくる。同じような角度で。

(斎藤正臣委員) 県北建設事務所のほうからは、本来であれば国のほうからご説明いただきたかった大枠の内容を県ではこういうふうにしているということをご説明いただくとおもうのです。例えば豪雪地帯のことであったりとか、補助金のことであったりとか。ただ、やっぱり県内でもすごいばらつきがあるではないですか。会津とか福島で全然違って、こういうばらつきがあるところで、この先生は、こういう地域だったらこういうふうにすべきだみたいな、そういうプロセスを持ったまちづくりというのをやっぺらっしゃる方なので、そういう関係でかなり細かいところでピンポイントのご説明をいただけるのかなというふうには期待しているところです。

以上です。

(梅津政則委員) 1回目が直球で、2回目が変化球という感じだ。

(斎藤正臣委員) そうですね。おっしゃるとおり。ありがとうございます。

(後藤善次委員) なるほど。そういうことなのですね。分かりました。

(斎藤正臣委員) ちなみに、7月の日程って確定するのは大体どれぐらいですか。

(書記) 返事がまだ来ないので、今何とも言えないところです。

(萩原太郎委員長) 県議会も6月22日から県議会が始まるということで、ばたばたしているのかもしれませんが、できるだけ早く決めてもらうようなことで事務局のほうにお願いしたいと思います。
よろしいですか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) なければ、以上で建設水道常任委員会を閉会いたします。

午後0時02分 散 会

建設水道常任委員長

萩 原 太 郎